

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件名 国有財産地下埋設物撤去工事（愛知県小牧市・春日井市）

開札年月日 令和7年12月23日（落札決定日 令和8年1月14日）

入札執行官署 大阪航空局

落札金額 ￥9,790,000 -

落札者 八光造園株式会社

予定価格 ￥12,837,000 -

積算額 ￥12,837,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥11,670,000 -

調査基準価格 ￥11,478,505 - 調査基準価格の100/110 ￥10,435,005 -

基準評価値 856.898

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評価点 (満点122点)	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	
八光造園株式会社	103.0	8,900,000	1157.303	○				落札

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。  
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。  
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。  
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。  
※ 本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和8年1月14日に落札者を決定した。



## 低入札価格調査の実施概要（建設工事）

件 名：国有財産地下埋設物撤去工事（愛知県小牧市・春日井市）

発注機関名：大阪航空局

調査対象業者：八光造園株式会社

項 目	内 容
(1) その価格により入札した理由	<p>直接工事費において、作業員のすべてを自社労務者で確保できること及び調査対象者の春日井支店事務所及び資機材置場と現場が近傍である地理的優位性から効率的な人員配置が可能であることから、労務費の削減が可能となっている。</p> <p>また、共通費については、本工事において必要な準備費、安全対策の費用、労務管理費など計上されていた。</p> <p>なお、調査対象者は、旧名古屋空港移転補償跡地等維持作業を受注しており、対象地の状況を熟知の上、直営工事を想定し当該価格で入札した。</p>
(2) 契約対象工事付近における手持工事の状況	<p>配置を予定している主任技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は1件あるが、1月末に作業が終了することから、問題ないと思われる。</p>
(3) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	<p>配置を予定している主任技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は1件あるが、1月末に作業が終了することから、問題ないと思われる。</p>

<p>(4) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件</p>	<p>調査対象者の提出資料から、調査対象者の春日井支店事務所及び資機材置場と現場が近傍である地理的優位性が認められ、そのことにより経費等の節減が可能で、緊急時の対応等及び安全管理にも優位性があることが確認できた。</p>
<p>(5) 手持資材の状況</p>	<p>手持ち資材は無いことが確認できた。</p>
<p>(6) 資材購入先及び購入先と入札者との関係</p>	<p>入札価格で資材販売店と取引が可能であることをヒアリング及び資材販売店の見積書により確認できた。</p>
<p>(7) 手持機械数の状況</p>	<p>当該工事で使用する機械類は、手持ちの機械の活用であり、損料計上において優位であることを提出資料により確認できた。</p>
<p>(8) 労務者の具体的供給見通し</p>	<p>今回の業務に従事する労務者は、すべて自社労務者を従事させるとしており、雇用関係は健康保険証と作業員名簿記載の雇用保険番号により確認したほか、各工種別に労務者を適切に配置する予定であることが確認できた。</p>
<p>(9) 過去に施工した公共工事名及び発注者</p>	<p>過去5年間（令和2年4月1日以降に完成・引渡しが完了した工事）に施工した公共工事を確認したところ、地方公共団体発注の工事契約に係る施工実績が7件、国発注工事は1件の実績があり、それらの工事成績評定点については、70点以上であったことから概ね適切な施工が行われているものと思料される。 調査基準価格を下回る価格で受注した工事は無く、コリンズ及び事業者へのヒアリングにより確認した。</p>
<p>(10) 経営内容</p>	<p>調査対象者の経営内容は、直近の財務諸表等の報告書から、健全な経営が行われていると判断する。</p>

<p>(11) (1)から(10)までの事情聴取した結果についての調査検討</p>	<p>当局積算と比して入札価格で乖離が大きい良質土については、長年、取引関係のある資材販売店から資材を調達することにより廉価に確保できるとの理由であり問題ないと思料される。</p> <p>また、調査対象者の春日井支店事務所及び資機材置場と現場が近傍である地理的優位性により経費の節減が可能となっていること、対象地の維持管理業務を受注し状況を熟知していること、下請け業者を使用せず自社労務者を従事させることで、費用の節減が図られていた。</p> <p>したがって、入札価格での本工事の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。</p>	
<p>(12) (9)の公共工事の成績状況</p>	<p>過去に施工した公共工事は適切に行われており、工事の品質については問題はないと判断する。</p>	
<p>(13) 経営状況</p>	<p>問題なし。</p>	
<p>(14) 信用状況</p>	<p>法令違反の有無</p>	<p>無</p>
	<p>賃金不払いの状況</p>	<p>無</p>
	<p>下請代金の支払遅延状況等</p>	<p>無</p>
<p>(15) その他の必要な事項</p>	<p>無</p>	